



家路

<http://kuraku.jp>

山はみどり 野に花 人にはこころ

地球のかおり

南極海に面するニューシーランド南島の南端。時は夕刻。この国で羊は珍しくもないが、何か惹かれるものがあった。特に家路を急いでいるようでもなく、ゆったりとした歩み。何を考えながら家路についているのだろう、と思いつつ、後をついていく。光がだんだんやわらかくなる。登り坂にさしかかると、羊の背に夕日が。日常の光景が輝きを帯びた。そう思えた瞬間だった。

(夢絵作家 久樂迎古)

家路

産経新聞